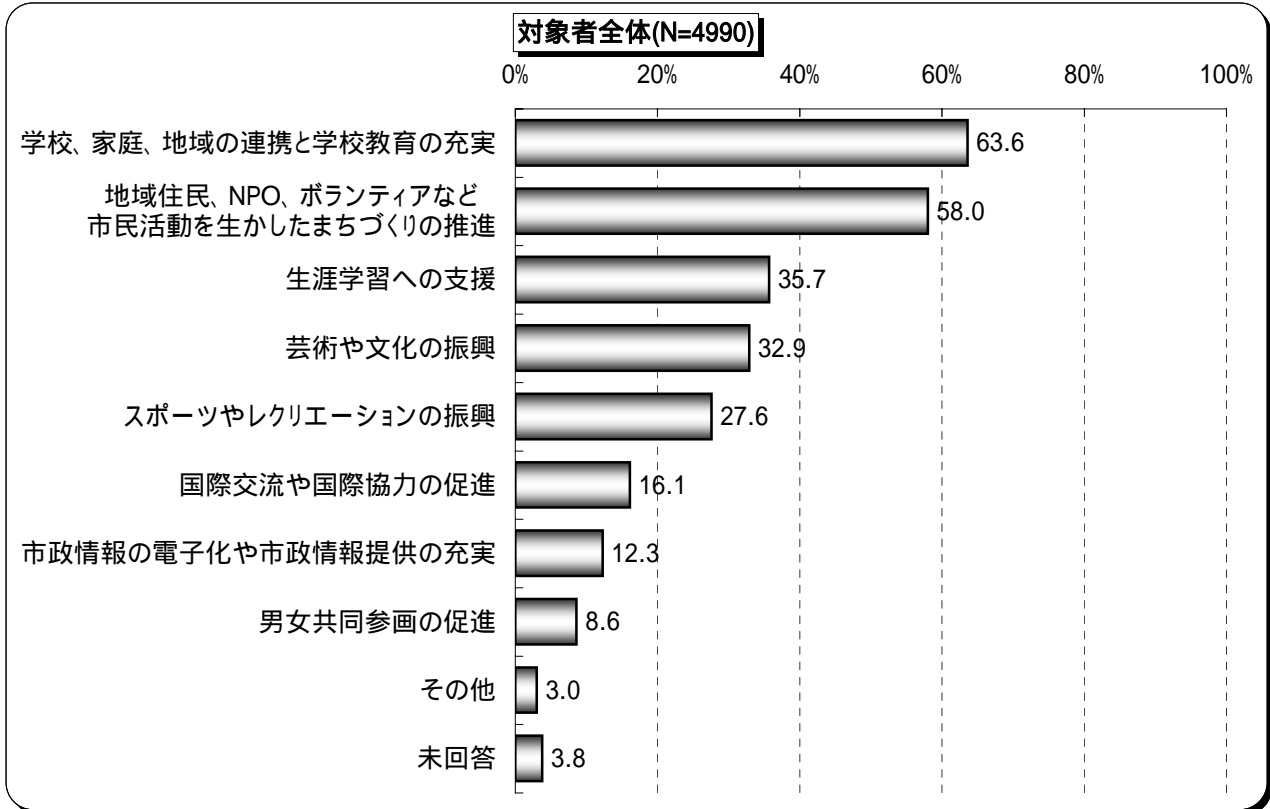


まちづくりに関する意識について

市民の創造性を高める環境づくりについて重要と思うもの

問13 市民の創造性を高める環境づくりについて、あなたが重要だと思うものを3つまで選んで をつけてください。

市民の創造性を高める環境づくりについて重要と思うものは、「学校、家庭、地域の連携と学校教育の充実」が6割半ば。



【対象者全体】 上位から「学校、家庭、地域の連携と学校教育の充実」(63.6%)、「地域住民、NPO、ボランティアなど市民活動を生かしたまちづくりの推進」(58.0%)、「生涯学習への支援」(35.7%)の順となっている。

	サンプル数	学校、家庭、地域の連携と学校教育の充実 (%)	地域住民、NPO、ボランティアなど市民活動を生かしたまちづくりの推進 (%)	生涯学習への支援 (%)	芸術や文化の振興 (%)	スポーツやレクリエーションの振興 (%)	国際交流や国際協力の促進 (%)	市政情報の電子化や市政情報提供の充実 (%)	男女共同参画の促進 (%)	その他 (%)	未回答 (%)
対象者全体	4990	63.6	58.0	35.7	32.9	27.6	16.1	12.3	8.6	3.0	3.8
(性別)											
男性	1949	62.1	55.1	33.1	31.0	33.2	17.5	15.7	9.0	3.4	3.2
女性	3000	64.7	60.0	37.4	34.4	24.1	15.1	10.0	8.3	2.7	3.9
(年代別)											
20歳～29歳	486	62.8	52.5	31.1	35.0	25.9	25.1	12.3	12.6	5.3	1.9
30歳～39歳	849	74.3	48.1	31.2	32.2	29.4	18.3	12.8	9.2	4.1	1.3
40歳～49歳	818	68.9	51.2	34.1	37.7	30.1	16.4	11.1	6.2	3.3	2.2
50歳～59歳	1145	58.4	61.2	41.2	37.6	26.0	15.4	12.7	8.0	2.2	3.0
60歳～69歳	1000	60.3	68.3	38.1	29.2	28.2	13.6	12.5	8.5	1.8	4.6
70歳以上	659	58.4	61.9	33.2	25.3	25.8	11.2	11.8	9.0	2.6	9.3

対象者全体スコアと比較し10%以上高い

対象者全体スコアと比較し10%以上低い

【性別】 男女共に「学校、家庭、地域の連携と学校教育の充実」(男性 62.1%、女性 64.7%)の値が最も高く、次いで「市民活動を生かしたまちづくりの推進」(男性 55.1%、女性 60.0%)となっている。

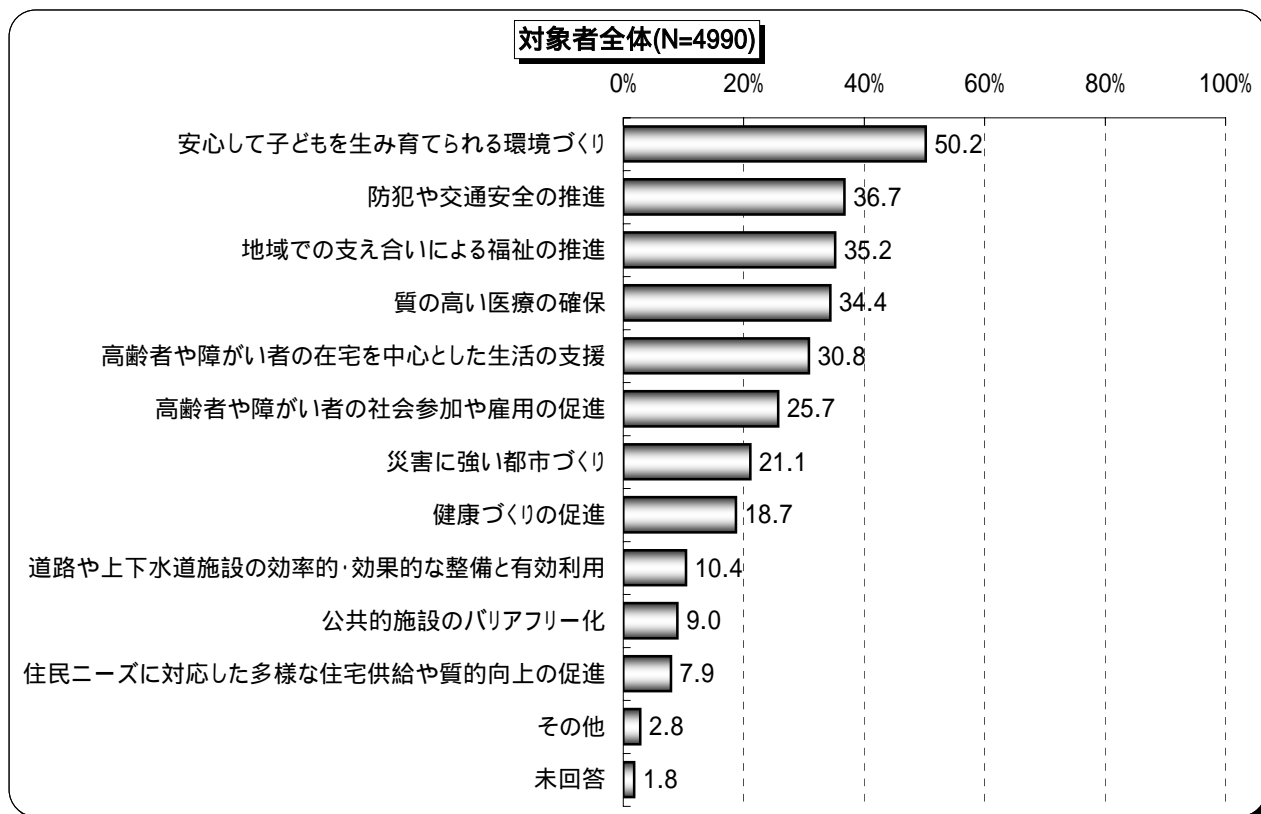
【年代別】 20代～40代は「学校、家庭、地域の連携と学校教育の充実」、50代～70歳以上は「市民活動を生かしたまちづくりの推進」の値が最も高くなっている。次いで、20代～40代は「市民活動を生かしたまちづくりの推進」、50代～70歳以上は「学校、家庭、地域の連携と学校教育の充実」となっている。年代が上がるのに比例して「国際交流や国際協力の促進」の値が減少傾向を示している。

まちづくりに関する意識について

安心・快適に暮らせる地域社会について重要と思うもの

問14 安心・快適に暮らせる地域社会について、あなたが重要だと思うものを3つまで選んで をつけてください。

安心・快適に暮らせる地域社会について重要と思うものは、「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」が5割強。



【対象者全体】 上位から「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」(50.2%)、「防犯や交通安全の推進」(36.7%)、「地域での支え合いによる福祉の推進」(35.2%)の順となっている。

	サンプル数	安心して子どもを産み育てられる環境づくり (%)	防犯や交通安全の推進 (%)	地域での支え合いによる福祉の推進 (%)	質の高い医療の確保 (%)	高齢者や障がい者の在宅を中心とした生活の支援 (%)	高齢者や障がい者の社会参加や雇用の促進 (%)	災害に強い都市づくり (%)	健康づくりの促進 (%)	道路や上下水道施設の効率的・効果的な整備と有効利用 (%)	公共的施設のバリアフリー化 (%)	質的多様な住宅供給や質的向上の促進 (%)	住民ニーズに対応した多様な住宅供給や質的向上の促進 (%)	その他 (%)	未回答 (%)
対象者全体	4990	50.2	36.7	35.2	34.4	30.8	25.7	21.1	18.7	10.4	9.0	7.9	7.9	2.8	1.8
(性別)															
男性	1949	46.4	39.4	33.8	35.5	30.6	25.0	20.0	20.6	13.7	7.3	6.7	6.7	3.4	1.7
女性	3000	52.8	35.3	36.1	33.9	30.8	26.3	21.9	17.4	8.2	10.0	8.7	8.7	2.4	1.7
(年代別)															
20歳～29歳	486	65.6	44.7	26.7	30.9	22.4	20.2	21.4	12.1	9.9	15.2	12.1	12.1	4.1	0.8
30歳～39歳	849	72.0	44.5	25.4	32.2	20.3	23.3	22.4	11.0	9.4	11.0	10.8	10.8	3.2	0.5
40歳～49歳	818	53.2	39.9	31.1	34.0	28.4	29.7	24.2	12.6	10.3	8.9	7.9	7.9	3.1	0.9
50歳～59歳	1145	43.2	34.0	34.9	34.9	33.9	32.3	22.8	19.9	12.9	7.4	6.9	6.9	2.9	1.4
60歳～69歳	1000	42.8	30.6	45.9	34.1	36.8	25.8	17.7	25.8	9.8	6.4	6.8	6.8	2.3	2.2
70歳以上	659	31.0	32.0	43.1	40.7	38.7	16.7	18.1	28.1	8.5	8.3	4.1	4.1	1.4	5.0

対象者全体スコアと比較し10%以上高い

対象者全体スコアと比較し10%以上低い

【性別】 男女共に「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」(男性 46.4%、女性 52.8%)の値が最も高くなっている。次いで、男性は「防犯や交通安全の推進」(39.4%)、女性は「地域での支え合いによる福祉の推進」(36.1%)となっている。

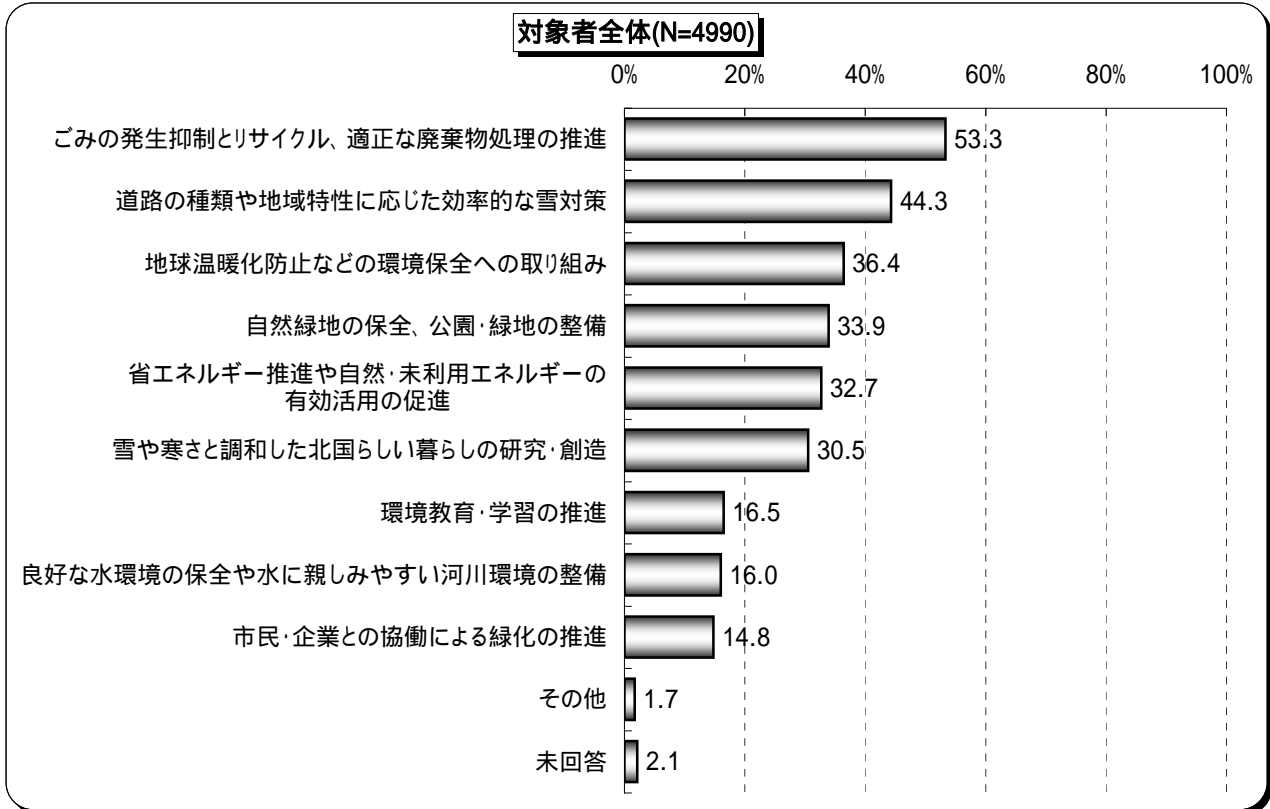
【年代別】 20代～50代は「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」、60代～70歳以上は「地域での支え合いによる福祉の推進」の値が最も高くなっている。次いで、20代～40代は「防犯や交通安全の推進」、50代は「地域での支え合いによる福祉の推進」、「質の高い医療の確保」、60代は「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」、70歳以上は「質の高い医療の確保」となっている。年代が上がるのに比例して「住民ニーズに対応した多様な住宅供給や質的向上の促進」の値が減少傾向を示している。

まちづくりに関する意識について

環境への負荷を減らす取り組みについて重要と思うもの

問15 環境への負荷を減らす取り組みについて、あなたが重要だと思うものを3つまで選んで をつけてください。

環境への負荷を減らす取り組みについて重要と思うものは、「ごみの発生抑制とリサイクル、適正な廃棄物処理の推進」が5割半ば。



【対象者全体】 上位から「ごみの発生抑制とリサイクル、適正な廃棄物処理の推進」(53.3%)、「道路の種類や地域特性に応じた効率的な雪対策」(44.3%)、「地球温暖化防止などの環境保全への取り組み」(36.4%)の順となっている。

	サンプル数	ごみの発生抑制とリサイクル、適正な廃棄物処理の推進 (%)	雪や寒さと調和した北国らしい暮らしの研究・創造 (%)	道路の種類や地域特性に応じた効率的な雪対策 (%)	自然緑地の保全、公園・緑地の整備 (%)	省エネルギー推進や自然・未利用エネルギーの有効活用の促進 (%)	地球温暖化防止などの環境保全への取り組み (%)	環境教育・学習の推進 (%)	良好な水環境の保全や水に親しみやすい河川環境の整備 (%)	市民・企業との協働による緑化の推進 (%)	その他 (%)	未回答 (%)
対象者全体	4990	53.3	30.5	44.3	33.9	32.7	36.4	16.5	16.0	14.8	1.7	2.1
(性別)												
男性	1949	50.7	26.5	44.0	37.0	33.4	31.2	16.0	19.3	14.3	2.7	2.0
女性	3000	55.2	30.5	44.4	32.0	32.3	39.8	16.8	13.9	15.1	1.1	1.9
(年代別)												
20歳～29歳	486	54.3	26.5	36.4	35.6	38.1	34.6	17.9	16.0	21.2	2.7	0.4
30歳～39歳	849	55.8	30.5	37.5	31.0	37.5	39.5	25.0	11.3	15.3	1.4	0.8
40歳～49歳	818	57.8	30.5	41.1	30.9	34.6	40.3	19.2	12.8	12.2	2.3	1.0
50歳～59歳	1145	49.8	30.5	48.0	32.2	33.2	37.1	15.5	15.6	15.5	1.8	1.7
60歳～69歳	1000	52.6	30.5	47.8	38.4	31.1	34.4	11.0	19.8	14.0	1.2	2.5
70歳以上	659	52.0	30.5	51.1	37.0	22.0	31.1	11.1	21.1	12.4	1.1	5.2

対象者全体スコアと比較し10%以上高い

対象者全体スコアと比較し10%以上低い

【性別】 男女共に「ごみの発生抑制とリサイクル、適正な廃棄物処理の推進」(男性 50.7%、女性 55.2%)の値が最も高く、次いで「道路の種類や地域特性に応じた効率的な雪対策」(男性 44.0%、女性 44.4%)となっている。

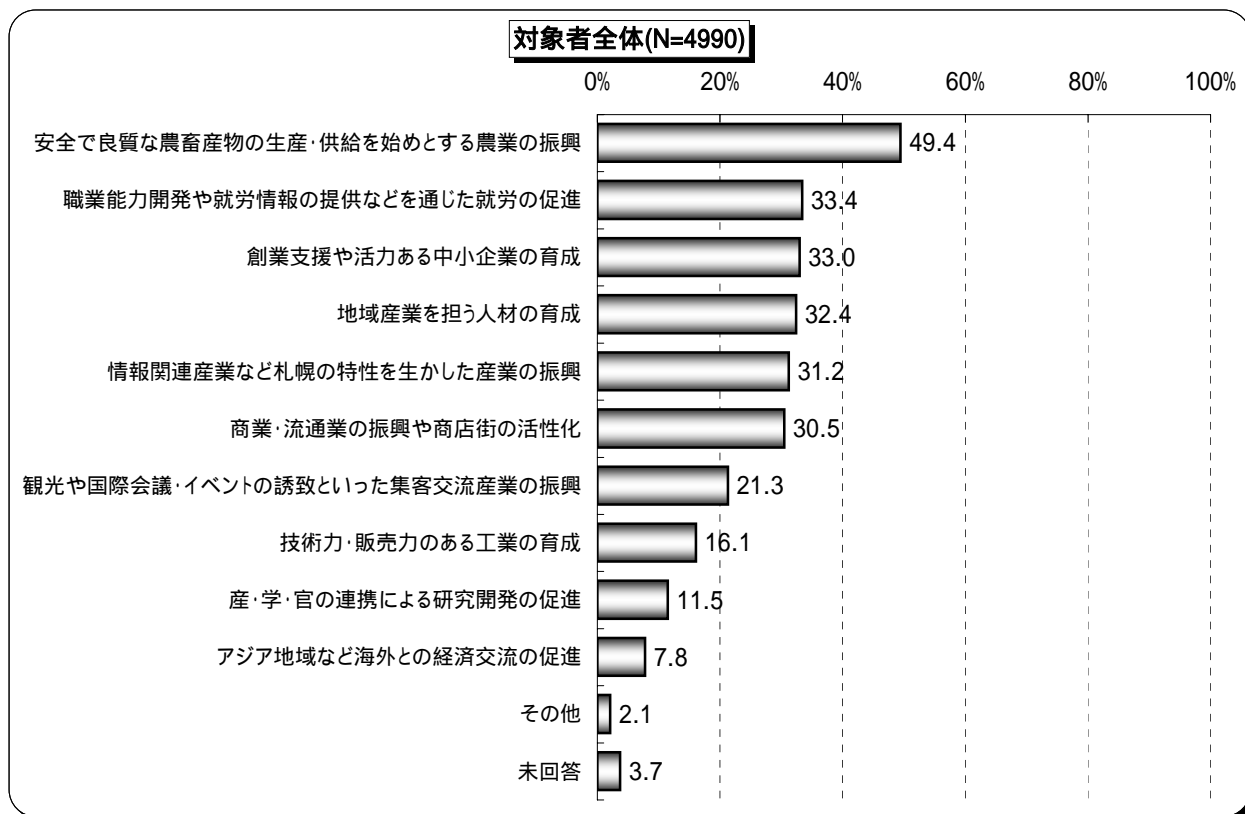
【年代別】 各年代で「ごみの発生抑制とリサイクル、適正な廃棄物処理の推進」の値が最も高くなっている。次いで、20代は「省エネ推進や自然・未利用エネルギーの有効活用の促進」、30代は「地球温暖化防止などの環境保全への取り組み」、40代～70歳以上で「道路の種類や地域特性に応じた効率的な雪対策」となっている。年代が上がるのに比例して「省エネ推進や自然・未利用エネルギーの有効活用の促進」の値が減少傾向を示している。

まちづくりに関する意識について

地域経済の活性化について重要と思うもの

問16 地域経済の活性化について、あなたが重要だと思うものを3つまで選んで をつけてください。

地域経済の活性化について重要と思うものは、「安全で良質な農畜産物の生産・供給を始めとする農業の振興」が5割弱。



【対象者全体】 上位から「安全で良質な農畜産物の生産・供給を始めとする農業の振興」(49.4%)、「職業能力開発や就労情報の提供などを通じた就労の促進」(33.4%)、「創業支援や活力ある中小企業の育成」(33.0%)の順となっている。

	サンプル数	めとの産農業者の振興	安全で良質な農畜産物の供給を始めとする農業の振興	職業能力開発や就労情報の提供などを通じた就労の促進	中小企業支援や活力ある企業の育成	地域産業を担う人材の育成	情報関連産業など札幌の特性を生かした産業の振興	商業・流通業の振興や商店街の活性化	観光や国際会議・イベントの誘致といった集客交流産業の振興	技術力・販売力のある工業の育成	産・学・官の連携による研究開発の促進	アジア地域など海外との経済交流の促進	その他	未回答
対象者全体	4990	49.4	33.4	33.0	32.4	31.2	30.5	21.3	16.1	11.5	7.8	2.1	3.7	
(性別)														
男性	1949	41.6	30.1	36.7	32.2	30.0	32.2	23.0	21.5	15.1	10.4	2.5	2.5	
女性	3000	54.9	35.9	31.1	32.9	32.3	29.6	20.5	12.7	9.3	6.2	1.9	3.6	
(年代別)														
20歳～29歳	486	38.9	38.7	33.7	32.5	33.1	27.0	31.3	12.6	11.1	10.1	3.1	1.2	
30歳～39歳	849	46.8	35.1	34.4	29.0	30.0	30.2	27.6	14.4	8.1	8.0	3.1	2.1	
40歳～49歳	818	48.0	34.8	35.2	33.5	31.4	29.3	22.7	17.2	9.2	6.2	2.1	1.8	
50歳～59歳	1145	53.8	35.8	36.2	35.1	27.9	33.3	16.2	18.2	10.7	7.9	2.2	1.9	
60歳～69歳	1000	56.2	33.0	29.7	34.1	32.7	31.6	17.1	16.2	13.7	8.4	1.5	3.5	
70歳以上	659	46.4	23.7	29.1	29.7	35.7	29.7	20.6	16.2	17.8	7.1	1.2	8.8	

対象者全体スコアと比較し10%以上高い

対象者全体スコアと比較し10%以上低い

【性別】 男女共に「安全で良質な農畜産物の生産・供給を始めとする農業の振興」(男性 41.6%、女性 54.9%)の値が最も高くなっている。次いで、男性が「創業支援や活力ある中小企業の育成」(36.7%)、女性が「職業能力開発や就労情報の提供などを通じた就労の促進」(35.9%)となっている。

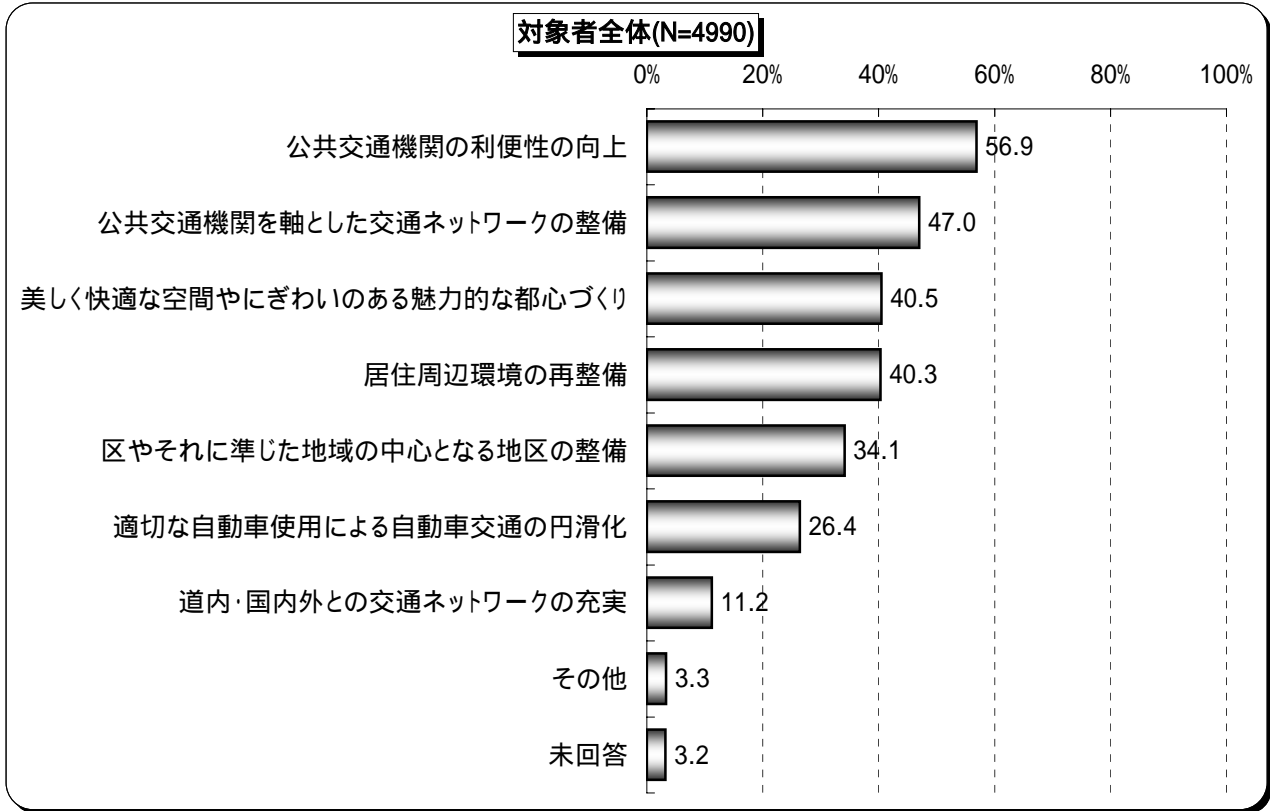
【年代別】 各年代で「安全で良質な農畜産物の生産・供給を始めとする農業の振興」の値が最も高くなっている。次いで、20代、30代は「職業能力開発や就労情報の提供などを通じた就労の促進」、40代、50代は「創業支援や活力ある中小企業の育成」、60代は「地域産業を担う人材の育成」、70歳以上は「情報関連産業など札幌の特性を生かした産業の振興」となっている。

まちづくりに関する意識について

都市空間や交通体系の整備について重要と思うもの

問17 都市空間や交通体系の整備について、あなたが重要だと思うものを3つまで選んで をつけてください。

都市空間や交通体系の整備について重要と思うものは、「公共交通機関の利便性の向上」が5割半ば。



【対象者全体】 上位から「公共交通機関の利便性の向上」(56.9%)、「公共交通機関を軸とした交通ネットワークの整備」(47.0%)、「美しく快適な空間や賑わいのある魅力的な都心づくり」(40.5%)の順となっている。

	サンプル数	公共交通機関の利便性の向上 (%)	公共交通機関を軸とした交通ネットワークの整備 (%)	美しく快適な空間や賑わいのある魅力的な都心づくり (%)	居住周辺環境の再整備 (%)	区やそれに準じた地域の中心となる地区の整備 (%)	滑らかな自動車交通の円滑化 (%)	適切な自動車使用による自動車交通の円滑化 (%)	道内・国内外との交通ネットワークの充実 (%)	その他 (%)	未回答 (%)
対象者全体	4990	56.9	47.0	40.5	40.3	34.1	26.4	11.2	3.3	3.2	
(性別)											
男性	1949	53.6	52.1	38.2	39.0	34.2	30.8	13.8	4.1	2.1	
女性	3000	59.7	44.2	42.3	41.6	34.4	23.8	9.5	2.8	3.0	
(年代別)											
20歳～29歳	486	58.2	45.7	45.5	36.4	23.0	31.5	15.6	3.1	2.1	
30歳～39歳	849	58.9	45.9	40.6	34.9	25.6	34.0	13.0	3.8	1.4	
40歳～49歳	818	57.6	49.8	36.2	39.2	29.3	26.7	14.8	3.7	1.6	
50歳～59歳	1145	58.5	49.3	37.0	42.8	37.6	26.7	10.0	3.9	2.2	
60歳～69歳	1000	56.5	48.0	43.5	43.7	43.6	20.7	8.3	2.9	3.0	
70歳以上	659	52.7	42.3	44.9	44.3	40.5	21.9	8.0	2.1	5.9	

対象者全体スコアと比較し10%以上高い

対象者全体スコアと比較し10%以上低い

【性別】 男女共に「公共交通機関の利便性の向上」(男性 53.6%、女性 59.7%)の値が最も高く、次いで「公共交通機関を軸とした交通ネットワークの整備」(男性 52.1%、女性 44.2%)となっている。

【年代別】 各年代で「公共交通機関の利便性の向上」の値が最も高くなっている。次いで、20代～60代は「公共交通機関を軸とした交通ネットワークの整備」、70歳以上は「美しく快適な空間や賑わいのある魅力的な都心づくり」となっている。

まちづくりで重要と思うことについて(自由回答)

問 18 その他、あなたがまちづくりで特に重要と思うことがありましたらお書きください。

(N = 1,514)

この設問には、1,514 人の方が回答を記載しました（複数意見の記載あり。）

主なものは次のとおりです。

1	除雪や雪利用といった冬の暮らしに関すること	2 3 2 件
2	住民主体の地域のまちづくりの推進に関すること	1 5 5 件
3	自然環境の保全や緑化の推進に関すること	1 1 6 件
4	日常の安全な暮らしに関すること	1 1 3 件
5	総合的な交通ネットワークの整備に関すること	1 1 1 件
6	市民一人一人の公共マナーの向上に関すること	8 5 件
7	バリアフリー化の推進に関すること	7 8 件
8	安心して子どもを生き育てられる環境づくりに関すること	7 7 件
9	公共交通機関の利便性向上や適切な自動車利用に関すること	7 3 件
10	効率的な行政運営に関すること	7 2 件